



10/20 sun

第1回目 14:00 開演
第2回目 15:30 開演

備前・閑谷 過去から未来への調べ

5次元キーボード & 最先端電子楽器パフォーマー

藪・井・佑・介

たったひとりのオーケストラ

備前焼作家 赤井夕希子 インスタレーション



【会場】特別史跡旧閑谷学校 講堂(国宝)前 岡山県備前市閑谷784
TEL 0869-67-9900

【観覧料】無料(事前予約不要) 但し、旧閑谷学校への入場券要購入

【お問合せ】エレクトロニック・ミュージック・ラボ実行委員会

TEL 090-5267-0095 * 詳細、荒天の場合のご案内など →



《主催》岡山県 / エレクトロニック・ミュージック・ラボ実行委員会

< 次世代おかやまアーティスト活動促進事業 >

岡山県では、次世代を担う岡山県ゆかりの芸術家に活動・発表の場を提供し、創作活動を支援するとともに、県民の皆様に対して優れた芸術に触れる機会を提供しています。

《特別協力》(公財) 特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会

《後援》備前市 / 備前市教育委員会 / (一財) 備前市文化芸術振興財団 / (一社) 備前観光協会



世界初5次元キーボード × AR[拡張現実]楽器
藪・井・佑・介
 たったひとりのオーケストラ

世界初《5次元キーボード》や空中で音を奏でる《AR楽器》など10台以上の最先端電子楽器を両手両足、全身で弾きこなし、たったひとりで壮大なオーケストラサウンドを奏でる演奏スタイルは世界でも類がなく、そのパフォーマンスは圧巻。

あらゆるジャンルの音楽に＜和＞の要素を融合させた独自の「和魂ミュージック」が国内外で高く評価されている



2022年10月
 日本遺産 吉備津神社音舞台

《国内外での主な賞歴》

- * 2023年 岡山県「第24回岡山芸術文化賞」準グランプリ
- * 宮本亞門氏発起人「NEXTアーティスト2023」選出
- * エンターテインメントの国際コンペティション「LIT Talent Awards 2022」プラチナ賞 & 金賞
- * 作曲コンテスト「サウンドクリエイター・オブ・ザ・イヤー 2020」グランプリ
- * 世界182か国の若手アーティストが競う「Lee Ritenour's Six String Theory Competition 2018」ファイナリスト
- * 「YAMAHA ジュニアエレクトーンコンクール全日本大会 2004」金賞



藪井佑介
 演奏動画

藪井佑介氏は2016年から5年間、毎秋、紅葉シーズンに旧閑谷学校講堂前にてコンサートを開催。歴史的建造物や神社仏閣、美術館、水族館、日本の美しい風景を舞台に、音楽と光、映像を融合させた《空間創造コンサート》を展開。その土地の歴史的背景やゆかりの人物などをテーマとした楽曲制作・演奏によるコンサート《日本の歴史文化を音で綴るプロジェクト》にも取り組んでいる。

今回は、旧閑谷学校が輩出した詩人 三木露風の「♪赤とんぼ」や今春より備前焼作家 赤井夕希子氏の作陶活動取材しながら「備前焼」をテーマに制作したオリジナル曲などを演奏。＜最先端電子音楽＞と＜炎と土の芸術 備前焼＞とのコラボレーションも行う。

備前焼作家／備前焼（土窯・古技法）研究者 **赤井夕希子**

岡山市の自然豊かな里山に生まれ、幼少期より地球が生み出す自然物、自然現象に強く惹かれ育つ。「土」そのものの特徴を生かし「炎」でつくりあげる備前焼に自らの表現の場を求め、備前焼作家平川忠氏のもと10年間の修行を経て2017年に独立。植物や鳥など自然の造形美を表現した彫刻、インスタレーション作品や暮らしの中の器などを制作。



作陶と並行して備前市埋蔵文化財管理センターの文化財専門研究員として備前焼窯跡の発掘・研究を行い、師匠の平川忠氏と共に約700年前の「土窯」の復元に取り組む。

- * 2015年・2018年 米国テキサスクリスチャン大学共同アーカンソー土窯プロジェクト（土窯の築窯・焼成）に参加
- * 2016年 世界考古学会議WAC-8関連フォーラムにて備前焼中世大甕復元について発表・作品展示（京都府立京都文化博物館）
- * 2023年 中国江西省「第3回景德鎮中日セラミックスフォーラム」に日本代表若手芸術家3名のうち1名として参加

今回、旧閑谷学校を創設した池田光政(池田家)の家紋「揚羽蝶」や「鳥」など自然をモチーフとしたインスタレーション作品を制作し、藪井佑介氏が書き下ろす楽曲とのコラボレーションを行う。



日本遺産 **特別史跡旧閑谷学校**

1670年、岡山藩主池田光政が創設した日本最古の庶民のための公立学校。堂々とした入母屋造りに《備前焼の瓦》が美しい講堂は国宝。儒学の祖・孔子像が安置された聖廟など国の重要文化財に指定された施設が点在する。

2015年、特別史跡旧弘道館(茨城県)、「史跡足利学校跡(栃木県)」「史跡咸宜園跡(大分県)」とともに「近世日本の教育遺産群 - 学ぶ心・礼節の本源 - 」として日本遺産第1号に認定された。